

少数台数のリコール届出の公表について（平成25年8月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成25年8月は8件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：富士重工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月 1日	3197	車名：スバル 型式：DBA-BRF 他 通称名：レガシィ 他	22	平成25年 5月10日～ 平成25年 5月22日
不具合の部位等	動力伝達装置において、自動変速機のパーキング機構のギヤをロックさせるパーキングロッドの組付け作業が不適切であったため、ロッドの抜け止め部が損傷しているものがある。そのため、パーキングロッドがマニュアルプレートから外れ、パーキングポジションへシフト操作してもパーキング機構が作動しなくなり、駐車条件によっては車両が動き出すおそれがある。また、パーキング機構のギヤがロックしている時にパーキングロッドが外れた場合、稀にギヤのロック状態を解除することができなくなり、最悪の場合、走行できなくなるおそれがある。			

2. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月 1日	3201	車名：三菱 型式：SKG-MK27FH 他 通称名：ふそうエアロミディ	85	平成23年12月14日～ 平成25年 5月17日
不具合の部位等	中型バスにおいて、前扉を車体に取り付けるボルトの締付けトルクが不足しているため、ボルトが緩み、脱落してドアを開閉できなくなるおそれがある。			

3. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月 1日	3202	車名：三菱 型式：BJG-MP37TK 他 通称名：ふそうエアロスター	37	平成20年 1月 7日～ 平成22年 7月 7日
不具合の部位等	大型路線バスのHEV車において、吸気ホースとターボチャージャーとの隙間が充分確保されていないため、ターボチャージャーの発熱によって、吸気ホースのゴムが硬化するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、吸気ホースに穴があき、エアクリーナ部に装着したエアフローセンサーが検出した空気量よりも多い空気がエンジンに供給され、排出ガスが基準値を満足しなくなるおそれがある。			

4. 届出者：株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月 2日	3205	車名：小松 他 型式：M162 他 通称名：FG35N 他	11	平成17年 9月14日～ 平成21年 5月 8日
不具合の部位等	LPGボンベを2本装着したフォークリフトにおいて、LPGが合流する配管継手部のニップルのねじ選定を誤ったため、ねじ部の気密性が不足する場合があります、そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ねじ部からLPGが漏れるおそれがある。			

5. 届出者：株式会社タダノ

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月 7日	3206	車名：タダノ 型式：UDS-T007 通称名：GR-250N-3	23	平成25年 5月29日～ 平成25年 7月 3日
不具合の部位等	ホイール・クレーンの前照灯において、車両生産時の前照灯(すれ違いビーム)照射方向の調整方法が不適切だったため、調整値が基準範囲から外れ保安基準に適合していないおそれがある。			

6. 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月 8日	3207	車名：三菱 型式：DBA-GF7W 他 通称名：アウトランダー	4	平成24年12月24日～ 平成25年 2月 8日
不具合の部位等	電動パワーステアリングコントロールユニット (EPS ECU) 内部のマイコン電源電圧を監視する回路の素子の製造工程が不適切なため、素子が特性不良となったものがある。そのため、電源電圧監視回路が誤作動し、インフォメーション画面に「パワーステアリングシステム点検」を表示するとともに、EPSのアシスト機能が停止し、ハンドルの操舵力が増大するおそれがある。			

7. 届出者：いすゞ車体株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月22日	3208	車名：いすゞ 型式：LKG-CYZ77AM 他 通称名：ギガ	14	平成22年12月10日～ 平成25年 2月20日
不具合の部位等	坂道発進補助装置 (HSA：ヒル・スタート・エイド) を移設した車両において、移設時の取付け位置が不適切なため、HSAの排気ホースがボルトと干渉し、当該排気ホースが変形するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、HSA解除時に排出するエアが抜けにくくなり、エアが完全に排出されるまでの間、ブレーキの引き摺りが発生するおそれがある。			

8. 届出者：ピアッジオグループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
8月 2日	外1956	車 名：モト・グツィ 型 式：ZGULP 通称名：1200 SPORT 4V	30	平成24年 6月27日～ 平成25年 7月17日
不具合の部位等	リヤサスペンションをフレームに固定するサスペンションリンク部品（名称：ダブルコネクティングロッド）の製造工程及び材質が不適切なため、耐久性が不足しているものがある。そのため、使用過程においてダブルコネクティングロッドが損壊して運転操作が困難になるおそれがある。			

【参考】

●平成25年8月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	13件（-1）	6件（-2）	7件（+1）
輸入車	4件（0）	3件（+2）	1件（-2）
計	17件（-1）	9件（0）	8件（-1）

※（ ）内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数（平成25年度）

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	18(+4)	7(-8)	25(-4)	1,023,922(+941,706)	7,500(-47,380)	1,031,422(+894,326)
5	8(-7)	13(+4)	21(-3)	270,667(-62,692)	118,690(+102,403)	389,357(+39,711)
6	23(+8)	9(+2)	32(+10)	705,638(+437,617)	4,332(+3,282)	709,970(+440,899)
7	16(-29)	10(+3)	26(-26)	1,088,311(+682,336)	14,657(+14,524)	1,102,968(+696,860)
8	13(-1)	4(0)	17(-1)	5,337(-32,629)	910(-468)	6,247(-33,097)
小計	78(-25)	43(+1)	121(-24)	3,093,875(+1,966,338)	146,089(+72,361)	3,239,964(+2,038,699)

※（ ）内は、対前年比